



- 凡例**
- 避難所 (Green circle with dot)
 - 一時避難場所 (Green circle)
 - 水が早めに浸かりやすい場所 (Blue oval)
 - 水が流れ込む方向 (Blue arrow)
 - 雨水マンホール (Red X)
 - フタの開いた側溝 (Red line)
 - 避難路 (Green arrow)
 - 標高(メートル) 4.7
 - その他危険箇所
水路や橋等に柵がないため転落危険 (Yellow diamond with exclamation mark)



今後の課題

<良い点>

- 路上駐車が少ないため、避難所への移動がしやすい。

<課題>

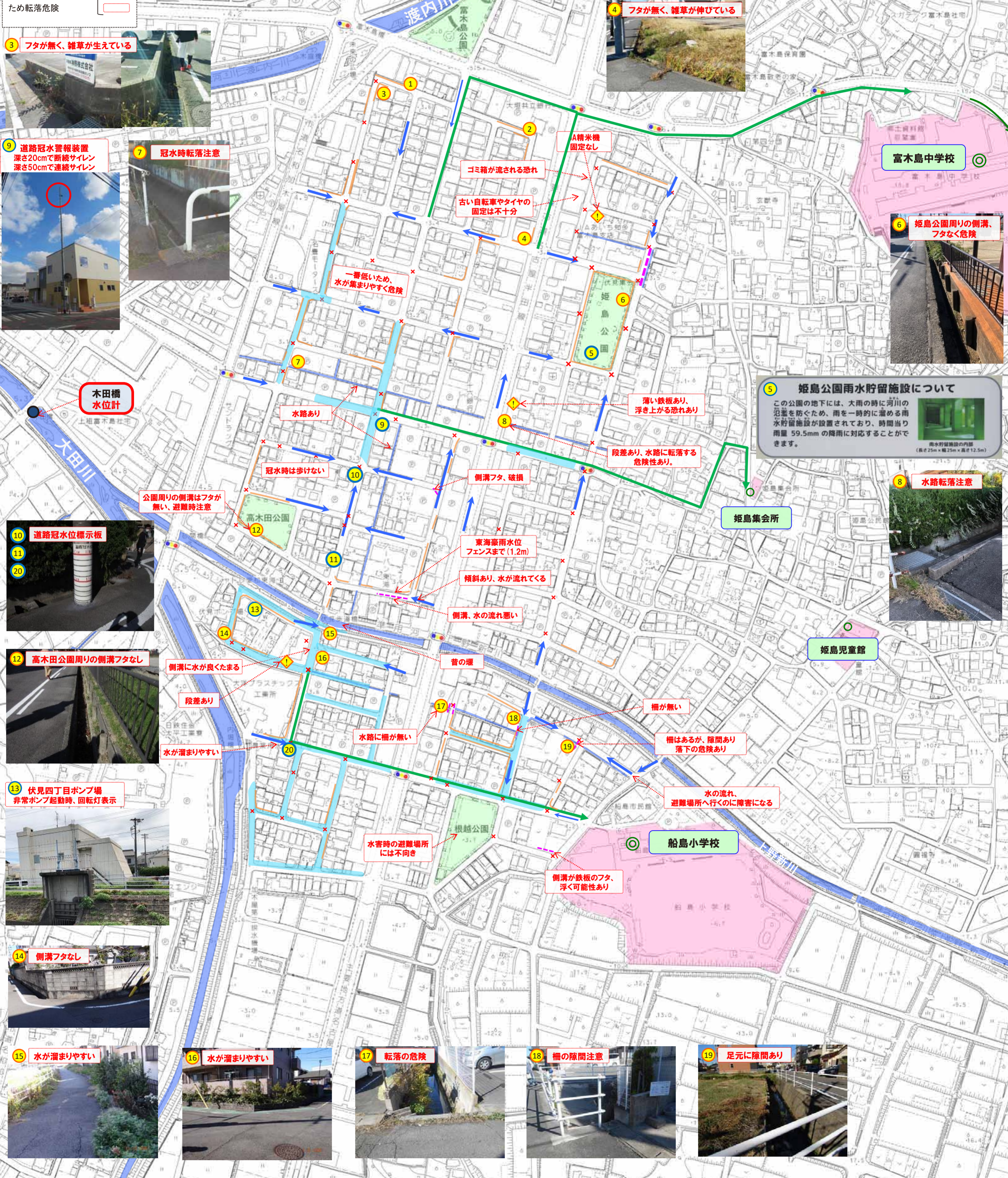
- 避難所(市民館、小学校)が2、3丁目から遠い。
- 側溝が土で溜まり、草がいっぱい生えている。
- ゴミも多い。ゴミの流出防止が必要。
- ゴミ集積所の管理方法に検討の余地あり。

<要望>

- 水路に柵を設置してほしい。
- また、転落の危険がある隙間を埋めてほしい。
- 側溝にフタをしてほしい。

注意点

- ほとんどの側溝にフタが無い。道路への出入口にあるのみ。角の側溝に、フタが無い箇所が多くみられる。
- 姫島公園の周りの溝が深く、危ない。
- 水害に対し、広域避難は無いと思われる。垂直避難で対応。
- 東海豪雨時、マンホールのフタが浮いた。



5 姫島公園雨水貯留施設について

この公園の地下には、大雨の時に河川の氾濫を防ぐため、雨を一時的に溜める雨水貯留施設が設置されており、時間当たり雨量 59.5mmの降雨に対応することができます。

雨水貯留施設の内部 (長さ25m×幅25m×高さ12.5m)

